



大阪市立大学

知と健康のグローバル拠点事業講演会

「健康社会を支える公立大学の新たな展開」

日時 平成29年 1月16日(月) 15時～17時 (開場14時30分)

場所 大阪市立大学 田中記念館

対象 本学学生及び教職員等 (入場無料・先着300名)

大阪市立大学は、本年度4月の荒川哲男新学長の就任に伴い、本学の強みである健康科学分野の研究や産学連携・地域貢献のさらなる強化に取り組むべく『笑顔あふれる知と健康のグローバル拠点』をスローガンとして新たな戦略を打ち出し、全学をあげて取り組んでいるところです。

また、(株)アオキ取締役会長・青木豊彦氏、(一社)アスリートネットワーク理事長・柳本晶一氏に学長特別顧問に就任いただき、大学の「叡智」・ものづくりの「匠」・アスリートの「身体力」を結集し、健康で元気な関西・大阪の実現に貢献するべく邁進しています。

今回、第1部では、文部科学大臣補佐官の鈴木寛氏をお招きし、これまで参議院議員、文部科学副大臣として携わってこられた教育、医療、スポーツ、科学技術イノベーション、IT政策や教育改革構想についての実績を踏まえて、公立大学として本学が目指すべき改革の方向性についてご講演いただきます。

第2部では、鈴木氏と学長特別顧問の青木氏・柳本氏と荒川学長とともに、『笑顔あふれる知と健康のグローバル拠点』として、本学が目指している新たな産学官民連携による健康・医療関連領域へのアプローチなど、関西・大阪を元気にする手法について大いに議論を尽くします。

プログラム

- ◆主催者挨拶 15時00分～15時05分
荒川 哲男 学長
- ◆第1部講演 15時05分～16時00分
「公立大学が目指すべき改革の方向性について」
講師：鈴木 寛 文部科学大臣補佐官
- ◆第2部^{パネリスト}講演 16時00分～17時00分
「関西・大阪を元気に」
鈴木 寛 氏 × 青木 豊彦 学長特別顧問 × 柳本 晶一 学長特別顧問 × 荒川 哲男 学長
- ◆司会 さわ ともか 氏 <フリーアナウンサー/本学経済学部卒業>

申込方法【1月6日締切】 代表者氏名・人数を下記問合せ先にご連絡ください。
問い合わせ先 総務課 06-6605-2011 ocu-jimu@ado.osaka-cu.ac.jp

プロフィール

鈴木 寛 (すずき かん) 文部科学大臣補佐官



1964年、兵庫県生まれ。東京大学法学部卒業後、1986年に通商産業省に入省。山口県庁出向中に、人材育成の重要性に目覚め、「すずかん」の名で親しまれ、大学生などを集めた私塾「すずかんゼミ」を主宰した。

慶應義塾大学SFC助教授を経て、2001年参議院議員初当選(東京都)。12年間の国会議員在任中、文部科学副大臣を2期務め、教育、医療、スポーツ・文化、科学技術イノベーション、IT政策を中心に活動。2012年4月、自身の原点である「人づくり」「社会づくり」にいつそう邁進するべく、一般社団法人社会創発塾を設立。社会起業家の育成に力を入れながら、2014年2月より、東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策メディア研究科兼総合政策学部教授に同時就任、日本初の私立・国立大学のクロスアポイントメント。

2014年10月より文部科学省参与、2015年2月文部科学大臣補佐官を務める。また、大阪大学招聘教授、日本サッカー協会理事、Inochi未来フォーラム理事などを務める。

青木 豊彦 (あおき とよひこ) 大阪市立大学学長特別顧問 / 株式会社アオキ取締役会長



1945年、大阪府生まれ。高校卒業後、父が経営する青木鉄工所に入社。1995年には、株式会社アオキと変更し、二代目社長に就任した。農業用機械の部品製造を主に行っていた父の経営から、「モノづくりにはプライドを持たなければならない」という思いから、新規事業を拡大し、ロボット部品や航空機部品の製造に乗り出し、1997年には、世界的航空機メーカーであるボーイング社の認定工場となった。その後、青木氏自身の企業をはじめとした、ものづくりの町・東大阪の技術力を活かし、人工衛星「まいど一号」の開発に取り組み、2009年に打ち上げに成功。航空産業を東大阪の地場産業にすることが夢だと公言する。また、大阪を医療のメッカにすることを目指している。2013年より株式会社アオキ取締役会長。2016年より大阪市立大学学長特別顧問。

柳本 晶一 (やなぎもと しょういち) 大阪市立大学学長特別顧問 / (一社)アスリートネットワーク理事長



1951年、大阪府生まれ。現役時代は、全日本男子代表のセッターとして活躍。また、実業団チーム・新日鐵では、選手兼任監督も務めた。1991年に現役引退後は、専任監督となる。Vリーグ女子・東洋紡オーキスの監督を経て、2003年、全日本女子チームの監督へ就任。吉原知子をキャプテンへ復帰させ、大山加奈、栗原恵などの若手選手の育成に力を注ぐなど、その手腕に注目が集まった。

低迷していた全日本女子チームをアテネ、北京の2つのオリンピックへ導き、全日本女子バレー復活請負人とも呼ばれた。2010年、関西を拠点に五輪出場経験者らで「アスリートネットワーク」を立ち上げ、次世代にスポーツの魅力を伝えていく活動を始める。2016年より大阪市立大学学長特別顧問。

荒川 哲男 (あらかわ てつお) 大阪市立大学学長



1950年、大阪府生まれ。大阪市立大学医学部を卒業後、第三内科に入局。専門は消化器内科。博士課程に進学し「胃酸でなぜ胃が溶けないのか」という疑問から、胃粘膜防御機構の解明に取り組む。海外での研究生活や国際学会での活動で、国内外に多くの人脈を築く中で、基礎研究や臨床試験を主導的に実施し、世界的な業績を挙げている。

大阪市立大学大学院医学研究科長、一般財団法人ものづくり医療コンソーシアム理事長、一般財団法人全国医学部長病院長会議会長の職を経て、2016年より公立大学法人大阪市立大学理事長兼学長。他にカリフォルニア大学アーバイン校、アリゾナ大学、香港中文大学客員教授。